

1. 件名：OECD/NEA PRISME3への対応方針に関する一般財団法人電力中央研究所との面談

2. 日時：令和3年11月30日（火）10：30～11：30

3. 場所：原子力規制庁 16階B会議室（オンライン開催）

4. 出席者

原子力規制庁

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 濱口主任技術研究調査官、

川口技術研究調査官、伊東技術研究調査官

一般財団法人電力中央研究所

原子力リスク研究センター 研究参事

サステナブルシステム研究本部 主任研究員

5. 要旨

(1) 原子力規制庁及び一般財団法人電力中央研究所（以下、「電中研」という。）は、経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）の火災試験に関する国際共同研究プロジェクト PRISME3 に参加し、火災試験及び火災進展解析から原子炉施設における火災事象の知見を収集及び整理している。当該プロジェクトにおける日本の今後の対応を検討するため、火災に対する原子炉施設のリスクの重要性について、電中研と打合せを行った。

(2) 原子力規制庁及び電中研は、火災に対するリスクを算出する際に必要な知見をそれぞれ整理することとした。

6. 配布資料

なし